

# Sustainability Report 2011



本社



福井工場

## 【会社概要】

新中村化学工業株式会社は、アクリルを中心とした重合・合成を手掛ける化学メーカーです。弊社はアクリルの重合技術の基、繊維関連中心に捺染(プリント)の世界をリードして参りました。当時、捺染業界では国内シェア60%以上を誇り海外へもホワイトペーストを中心に捺染材の拡売を続けて参りました。しかしながら国内需要は、衣料から工業製品へと移り変わり、自動車・車両関係、電気・電子製品が主流となってきました。弊社も機能性コーティング剤を開発し、カーシート・車両用バックグング剤、特殊コート紙関係へと販路拡大に努めております。また、紫外線硬化型樹脂としてアクリルモノマー、オリゴマーの合成を手掛け、その用途は広く弊社売上の70%近くを占める主力製品として成長しております。紫外線硬化型樹脂は無溶剤で有り環境に優しく、また硬化エネルギーも小さくて済み、CO2の発生を抑える効果も有ります。

昨今ラジカル重合の応用範囲が広がり、紫外線から赤外線まで、或いは熱、嫌気等あらゆる分野で応用されております。今後この紫外線硬化型樹脂を中心とした開発を益々発展させて行き、社会環境とエコの調和を目指し社会に貢献できる企業を目指して行きたいと考えております。

## 【主要な商品】

- ・ NK エステル : 架橋剤、反応性希釈剤、機能性付与、
- ・ NK オリゴ : 架橋剤、光硬化性樹脂、機能性付与
- ・ NK ポリマー : 光硬化性樹脂、ベースレジン、機能性樹脂
- ・ パナレジン : 溶液重合
- ・ ニューコート : 乳化重合
- ・ NK バインダー他 : 各種接着剤他



(基盤用レジストインキ)



(光ファイバーコーティング剤)



(各種機能性コーティング剤)



(ラベル等粘着剤・接着剤)



(Tシャツ等捺染剤)



(各種車両用機能性コーティング剤)

## 【トップコミットメント】

初めに、東日本大震災で被災された皆様、台風12号による土砂災害により避難を余儀なくされている皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たちは、この震災・災害を教訓とし、新しい国・日本を創っていくための出発点となるよう、今まで以上に『災害に強い社会』の実現を目指していかなければならないと感じております。そんな中、電力不足への対策も急務です。当社が培ってきた技術を生かし、『省エネルギー』『自然に優しく』をテーマに『新中村化学ならではの力』を新しい国創りに向け、少しでも貢献していきたいと考えております。

## 『CSR について』



弊社の存在意義は、【経営理念】である『全従業員の幸福と、人と社会をより良くする場』の創出であります。

従業員を含めた社会全体をより良くし、総ての人の『幸福』に貢献できる共同体を目指しております。

創業以来の考え方、【創業精神】・【社是】を尊び、【行動指針】（挨拶・整理整頓・掃除）を全社員の行動の原点に置いております。

また、弊社の【使命】は『社会が求める価値を化学品の創出で実現する』事であり、使命実現の為に明確なビジョンを描き、成果を定義し、5つの

【事業計画】（マーケティング・イノベーション・生産性向上・経営資源・社会的責任）をマネジメントの柱に掲げております。また、【事業原則】

である顧客満足へのマネジメント8原則（顧客重視・リーダーシップ・人々の参画・プロセスアプローチ・マネジメントへのシステムアプローチ・継続的改善・意思決定への事実に基づくアプローチ・供給者との互惠関係）を基盤に改善を推進しております。

これらの本業活動の質を高め、公共性の高い社会組織の一員を目指す礎としてCSRの考えを経営に取り入れていきます。

昨年2月にCSR方針を掲げさせて頂きました。

（方針に伴う行動規範を4月1日に作成、双方ホームページに掲載させて頂いております）

弊社の【CSR方針】は、

- ① 法令順守
- ② 環境保全への配慮
- ③ 社会貢献 であります。

基本的な方針を掲げ、今後内容の充実を図っていきます。

## 『共に幸せになれる持続発達社会の構築』

に向けてCSR活動を充実させて行きたいと考えております。

## NK WAY～めざす道～

### 創業精神

感謝の心で魂を高める

### 社是

- ◎誠 実 良心を大切に、人として正しい事をおこないます
- ◎努力 謙虚にして驕らず、人事を尽くし可能性を追求します
- ◎協力一致 『人のつながり』を活かし、お互いに高め合う共同体をつくります

### 経営理念

全従業員の幸福と、人と社会をより良くする『場』を追求します

### 行動指針

- ◎挨拶 心と心をつなげます
- ◎整理整頓 生産性向上の原点を整えます
- ◎掃除 何事にも行き届きます

### 事業使命

社会が求める価値を、化学品の創出で実現します

### 事業方針

- ◎環境方針 製品の安全性と資源の有効活用を追及し、地球環境の最適化をめざします
- ◎社会方針 社会の要求と調和し、超長期の持続可能な社会成長をめざします
- ◎顧客方針 より高次のマーケティングを追求し、顧客の創造をめざします

### 事業計画

- ◎マーケティング 市場顧客が求める、新しい製品・サービスを提供するための活動を実践します
- ◎イノベーション マーケティングを可能にするための革新活動を実践します
- ◎生産性向上 今の事業をより優れたものにするための活動を実践します
- ◎経営資源 経験知識の追求を行い、社会資源の高次化を実践します
- ◎社会的責任 本業を通じた、社会的課題の解決活動を実践します

### 事業原則

- ◎顧客重視 市場目線・未来目線でニーズに対応します
- ◎リーダーシップ 市場における当社の卓越性の追求を行います
- ◎人々の参画 計画・実践・振り返り・改善を全員参加で行います
- ◎プロフェッショナル 顧客に望まれる成果を生み出すために、工程の相互関係を発達させます
- ◎マネジメントへのシステムアプローチ 全体最適化を目指し、工程を進化させます
- ◎継続的改善 永続的発達する事業構造を創造します
- ◎意思決定への事実に基づくアプローチ 管理記録と測定内容を、良心で判断します
- ◎供給者との互惠関係 『より良い社会』を目指す、共創活動の関係を発達させます

ありがとうを化学する—

**新中村化学工業株式会社**

Shin-Nakamura Chemical Co., Ltd.

## **CSR 方針**

当社の事業方針『NK WAY』に基づき企業活動を行い、経済・環境・社会価値を向上し持続可能な社会の発展に貢献していきます。

### **①法令順守**

- ・ 関連する法規を把握し順守することにより社会的責任を果たしていきます
- ・ 化学物質の適正管理を行います
- ・ 安全、安心かつ健康的な労働環境を維持・向上するよう努めます

### **②環境保全への配慮**

- ・ 製品の資材調達から製造・販売・廃棄までの領域に対して環境負荷の低減に努めます
- ・ CO2削減及び自然保護活動を行い、より良い地球環境を創造します

### **③社会貢献**

地域社会との『相互幸福関係』を築き、事業価値を高め『より良い社会』を目指します

2011年2月1日

## **NK の CSR 行動規範**

### **・顧客**

1. お客様にとって安全で品質の良い安価な製品を提供します。
2. お客様とのコミュニケーションを大切にし、お客様の声を製品開発及びサービスに生かします。

### **・社会**

1. 私たちは、地域社会と協調を図り、持続的な相互幸福関係を築きます。
2. 私たちは、企業市民として責任、義務を履行し地域社会との共生に努めます。

### **・従業員**

1. 私たちは、安全衛生管理に基づき安全かつ働きやすい労働環境づくりに努めます。
2. 私たちは、従業員の基本的人権を尊重し業務に無関係な理由での差別等を行いません。
3. 私たちは、従業員のスキルアップに励み、豊かな人間形成に努めます。

### **・地球環境**

1. 私たちは、CO2削減の為に省エネルギーを推進し地球温暖化の防止に努めます。
2. 私たちは、調達原料及び製造品などの有効活用により廃棄物の削減に努め資源の無駄を無くします。
3. 私たちは、環境影響の少ない製品の開発と生産に努め、地球規模での環境保全活動に努めます。

### **・法令順守**

1. 私たちは、関連する法令を正しく理解し順守すると共に地域の文化慣習を尊重します。
2. 私たちは、日本国内の法令順守は当然の事、国際的にも製品提供国の法令を把握し順守し相手国を尊重します。

2011年4月1日

## 【NKのステークホルダーとニーズについて】

- ・ 顧客の期待 : 高品質、安い、環境・エコに優れた物、新規開発、
- ・ 従業員(経営者も含む)の期待 : 安全、高収益・高所得、安定、ライフバランス
- ・ 投資家(株主・金融)の期待 : 高収益、高配当、持続可能性、高事業価値
- ・ サプライチェーンの期待 : 持続性、安定した販売量の確保
- ・ 行政の期待 : 納税、安全、遵法
- ・ 地域住民・の期待 : 環境(音・臭気・安全性)、行事の参画、寄付、社会貢献

## 【パフォーマンス及びデータ】

### 取組みについて

(中核主題及び課題別に記載)

### I. 組織統治

- ISO9001の維持: マネジメントシステムの認証を1996年12月に取得。現在まで15年間維持更新を続けてきました。  
その間ISOの規格変更も有りますが、確実に維持改善に努め現在の顧客満足及び組織の透明性に繋げております。
- 他社の調査票への回答: 年間100社弱の調査票回答依頼が来ております。内容は品質関係・環境関係・CSR関係等種々雑多ですが夫々に回答する事により弊社の説明責任を取ってきています。
- 株主総会: 弊社の株主様に対し弊社の今期の活動結果及び今後の計画について発表し、報告書を持って透明性及び説明責任を果たしております。



### II. 人権

#### ・差別及び社会的弱者

- 定年者再雇用制度(高齢者雇用): 高齢者に対し機会均等と権利の確保と要望等を取り入れ社員の意識高揚を兼ねて再雇用制を実施。

(2011年度実績)

N氏(営業本部営業部)	64歳、	N氏(生産本部和歌山工場)	64歳、
K氏(生産本部和歌山工場)	62歳、	H氏(生産本部福井工場)	62歳、
K氏(生産本部和歌山工場)	64歳、	T氏(生産本部和歌山工場)	62歳、
Y氏(生産本部和歌山工場)	64歳、	I氏(生産本部和歌山工場)	64歳、

以上8人(全従業員192人)

#### ・経済的、社会的及び文化的権利

- 従業員に対しボウリング大会・サマーバイキング・座談会の協賛金支出: 社員の自主的活動に対し会社としてバックアップし、精神的な健康維持促進を果たしています。
- 会社主催の決起集会・社内旅行・忘年会: 社員のやる気の高揚を含め定期的に開催
- 保養施設: 従業員の厚生施設として白浜にヴィラ古賀浦を所有、又会員制ホテルエクシブの法人会員として社員の豊かな生活を支えています。
- 花山鳴神亭の協賛: 社員の文化交流の場として関連会社花山開発を協賛し社員の英気を養う活動をしています。



(ボウリング大会)



(サマーバイキング)



(決起集会)



(海外旅行)



保養施設(ウツノミヤ)



保養施設(イナガ)

### Ⅲ. 労働慣行

#### ・雇用及び雇用関係

- a. 社会保険料・厚生年金・健康保険・雇用保険・労災保険各種の納付：社員の安全及び保証制度に対し企業として前向きに対応しています。

#### ・労働条件及び社会的保護

- a. 各種団体への参加：経営者協会・化成品組合・納税協会・商工会議所等に対し夫々の会員として情報の収集・活動の協調性を求める。
- b. 子育て休暇の導入：女性の休暇は今までも有ったが、男性社員の休暇制度を導入する事により社員の豊かなワークライフバランスを取れるよう支援。

#### ・社会対話

- a. 方針及び計画、重点管理項目：各種発表及び決起集会を行う事で組織の方針を従業員に報告し一致団結して社業に打ち込めるよう配慮。又、日常は毎日の朝礼にてNK WAY 唱和と連絡事項の伝達により意思疎通を図っている。



(方針発表会)



(決起集会)

- b. NK WAY 発表：会社としての理念・使命・計画を周知徹底し、主従関係を円滑にし対外的にNK の考え方を説明しています。
- c. 会社への要望事項対話：従業員会と2回/年の話し合いの場を持ち、従業員側からの要望事項について会社の対応を発表。双方の話し合いの場を持ち、従業員側からの要望事項について会社の対応を発表。
- d. 対話：社長・部長・課長と社員との対話(課長1回/月、部長1回/3ヶ月、社長2回/年)を通して夫々の要望を伝え、その後の協議を進め、より透明性の有る企業に育て上げる。

#### ・労働における安全衛生

- a. 和歌山消防署への報告：消防計画・防災計画提出と毎年のチェックリストの報告、消防訓練・防災訓練の実施と反省・改善を報告する事により社員の災害における認識の植え付けと生命の安全に努める。



(和歌山工場消防訓練)



(福井工場消防訓練)

- b. 毎年の健康診断の実施：社員の健康状態を把握することにより社員の安全・健康に配慮して、職場環境の改善に努める。
  - c. 常備薬の設置：いざという時の緊急処置が出来る様、救急員セミナーの受講と常備薬の設置を施行し従業員の安全に努める。
  - d. 健康優良児の表彰：表彰する事により健康に対する意識の高揚を図る(2011年度 生産本部を中心に18名の表彰)
  - e. 安全衛生委員会：ヒヤリハット運動からKY運動に及ぶ幅広い危険予防策の構築と現場視察による監査をする事により社員の安全に努める(2011年度 熱中症対策、職場の手すりの設置、標識の設置、照明の改善)
- ・ **職場における人材育成及び訓練**
- a. 生長の家への寄付：社員の豊かな精神を養う為に導入している講習会・就労研修・新人研修等の開催・参加  
《例》
    - 12月 生長の家 講師「日本に生を受けたよろこび」
    - 01月 生長の家 富山教区 事務局長 本部講師 後藤 富善先生「苦悩から歓喜へ」
    - 02月 生長の家 和歌山教区 教化部長 古賀泰孝先生 「生長の家とは」
    - 03月 ウィル・スキル・アソシエイト株式会社 代表取締役社長 竹内慎也先生  
「自己表現力を高め、コミュニケーションを豊かに！」
    - 05月 「日本経済新聞の読み方」
    - 06月 生長の家 講師「人間は神の子シリーズ」第二話
    - 07月 古川カウンセリングルーム  
古川 淑子「カウンセリングを通して見えてきた現状と課題」
    - 08月 生長の家 和歌山教区教化部長坂江 建輔 先生「命が喜ぶ生き方」  
QC発表会、今期レビュー発表会及び次期会社目標の発表・各部の目標発表
  - b. 各種団体主催のセミナー及び講習会開催・参加：社員の能力・技術の水準を上げ経済的社会的文化的水準を上げる機会を提供  
《例》
    - 人生講座研修会他講習会開催
    - 10月 危険物取扱者保安講習の参加  
消化訓練(和歌山本社内)  
第52回福井市自衛消防隊消防操法競技大会参加  
TOEIC Bridgeテストの実施
    - 12月 X-point(社内システム)説明会  
危険物受験対策研修開催  
GPC説明会開催
    - 02月 生長の家大講習会  
生き方・管理会計講習会
    - 05月 ニッセイ企業セミナー 勝谷 誠彦氏  
“今、もっとも知る男が語る、国難の時代をどう生きるか”
    - 06月 防災規定改定説明会  
臨時株主総会  
第2回 TOEIC Bridge.
    - 08月 普通救命講習  
危険予知セミナー開催
    - 09月 生長の家 和歌山教区栄える会～「繁栄ゼミナール」
  - c. 懲罰委員会：信賞必罰制度を取り上げ社員の意識の向上を目指す  
40期表彰 永年勤続10年 5人、20年 8人、40年2人  
QC発表会 社長賞、優秀賞、敢闘賞 2組  
開発貢献賞、発明賞、新人賞2人、努力賞7人
  - d. QC発表会：各自の活動発表会を通じ成果及び貢献度を自覚する事により社員の意識の高揚を図る。

- e. 有言実行シート：各自のやるべき事、成果を考える事で社会の一員で有る事の自覚及び目標を設定し活動の方向性を合わせる。
- f. 危険物取扱者：講習会の参加と合格発表をする事で能力技術の水準を上げ経済的社会的文化的水準を上げる機会を提供。

「危険物取扱者試験合格者」

**【危険物取扱者乙種第4類】**

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| T 氏 (生産本部和歌山工場生産管理課) | K 氏 (生産本部和歌山工場 4 課) |
| O 氏 (生産本部和歌山工場生産管理課) | K 氏 (生産本部福井工場 2 課)  |
| H 氏 (生産本部和歌山工場環境管理課) | T 氏 (生産本部福井工場 3 課)  |
| N 氏 (生産本部和歌山工場 1 課)  | K 氏 (生産本部福井工場 3 課)  |
| K 氏 (生産本部和歌山工場 1 課)  | Y 氏 (生産本部福井工場品質保証課) |
| O 氏 (生産本部和歌山工場 1 課)  | O 氏 (管理部業務課)        |
| O 氏 (生産本部和歌山工場 4 課)  |                     |

**【危険物取扱者乙種第5類】**

- M 氏 (生産本部和歌山工場 2 課)

**【危険物取扱者甲種】**

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| N 氏 (研究開発部高機能材 2G)               | K 氏 (研究開発部ホ <sup>®</sup> リマ- 2G) |
| M 氏 (研究開発部高機能材 2G)               | H 氏 (生産本部福井工場品質保証課)              |
| M 氏 (研究開発部ホ <sup>®</sup> リマ- 1G) |                                  |

- g. 人生訓関係の書籍の配布：豊かな人生を送る手助けとして教養の向上を目指す。  
参考書：生き方・5つの強み・マネジメント・PHP等の各書籍配布。  
その他プレゼン等<sup>®</sup>の抜粋記事の配布。
- h. 朝礼・報告：常に会社の状況を知り各自が自覚を持った活動が出来る事、及び会社の一員で有る事の自覚を養成。
- i. 語学教室：社員のスキルアップを目指し経済的社会的文化的水準を上げる機会を提供。

実例：①財団法人実務技能検定協会 秘書検定 3 級 K 氏 (管理部総務課)

- ②日商 PC 検定 3 級 (エクセル) T 氏 (管理部総務課)
- ③「和歌山県発明考案等表彰」(平成 22 年度)  
(創意工夫功労賞) I 氏 (生産本部和歌山工場 2 課)  
「ドラム充填作業投入時間の削減」で受賞

④特許登録

名称：「ホ<sup>®</sup>リエステルマカドモ<sup>®</sup>マ<sup>®</sup>およびその製造方法」  
権利者：和歌山県・新中村化学工業株式会社  
出願No.：2005-053757 出願日：2005 年 2 月 28 日  
公開No.：2006-2331-48 公開日：2006 年 9 月 7 日  
登録No.：4694862 登録日：2011 年 3 月 4 日  
存続期間：2011 年 3 月 4 日～2025 年 2 月 28 日まで  
【出願から 20 年】  
発明者：細田朝夫・谷口久次・久保田静男・栢木實



⑤「平成 22 年度和歌山市優良従業員表彰受賞者」

- K 氏 (研究開発部高機能材 1G)  
K 氏 (生産本部和歌山工場 4 課)

**IV. 環境**

・汚染の予防

- a. ISO14000 認証取得及び維持(内部監査・維持審査・外部監査を通じて)する事により法令順守も兼ね汚染予防に努める。
- b. 臭気対策：過去 1 年間、化学会社特有の臭気問題も外部からの苦情件数 0 で終わる。





・持続可能な資源の利用

- a. 太陽光発電・風力発電の設置：省エネルギー化を目指し、自然エネルギーへの対応を模索  
 発電量：太陽光発電量 20,540KWH/Y、風力発電量 252KWH/Y  
 和歌山・福井工場電力使用総量：7,065,408KWH/Y



(太陽光発電)



(風力発電)

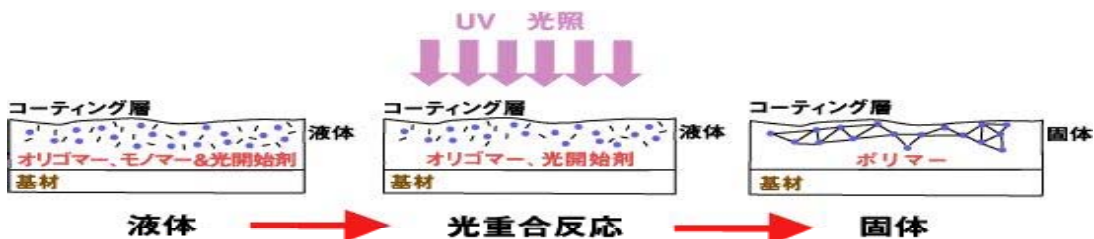
- b. 関西電力への節電協力：法令制定は無いがエネルギー分散の見地から振り替えによる休日出勤体制でピーク電力の低下に協力



<対前年比>

- ・ピーク電力 10.0%削減
- ・総使用量 15.9%削減

- c. 夏季使用電力の節減：エアコン 29℃設定及び扇風機の併用、クールビズの延長、照明の対応及び休憩時間の消灯、パソコンの省資源化への設定、LEDの採用等各部集まって対策を立て全社一致協力体制で対応。(結果は上記グラフ参照)
- d. 紫外線硬化型樹脂の開発：硬化エネルギーの小さい樹脂の開発により生産ラインの省エネ化に協力する。



- e. 複合機の紙使用制限：省資源よりコピー、データ出力について裏表印刷の勧奨と打ち出しの制限（ファックスを1度コンピューター画面で確認、必要な物のみ打ち出し）をする事により使用枚数が減少。
- f. 和歌山エコオフィス認定：省資源活動を認められ和歌山市よりエコオフィス認定を受ける。



・気候変動緩和及び適応

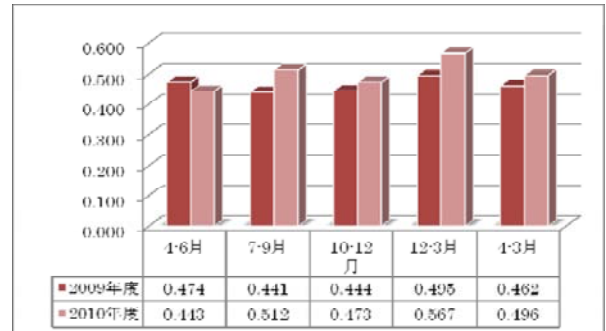
CO2 の削減：カーボンオフ活動(エコキャップ回収にて年間 17,280 個、CO2 削減 136Kg、ポリオワクチン 21.6 人分の寄付)により、CO2 の削減等小さな運動ですが社会の役に立てる喜びを感じております。



- a. マテリアルバランスの発表：社員の意識の高揚を図ると共に環境保全活動の活動強化

CO2 削減目標：5 年間▲10%  
(2009 年度比、原単位)

来期に向け  
福井工場使用重油を LNG に変更計画進行中  
本社工場も検討予定



- b. 水性樹脂の開発：溶剤の空中への飛散を防ぐ為、水性樹脂に切替活動を展開

## V. 公正な事業慣行

### ・責任ある政治的関与

和歌山県警への暴追関係回避：非社会的勢力の廃絶の為協力すると共に自社でもポスター含め注意喚起。

- a. 弊社中村会長が和歌山商工会議所副会頭に就任：和歌山経済界含め社会全般の秩序の維持を含め協力体制をとる。  
b. 春秋の火災予防運動ポスター、実施事項等資料掲載：財産の消失と同時に化学会社特有の周辺の爆発による危険性を告知し、責任ある行動を徹底する。



### ・公正な競争

各種広告掲載(和歌山新報・化学工業日報)：社会に存在を公開する事で企業の説明、商品の説明をすると同時に、窓口(連絡先)の開示により公正な取引がされるように努める。



### ・財産権の尊重

特許出願奨励制度(報奨金制度)：特許を申請する事により新製品が増加、雇用の拡大が図れる。この為特許出願に関しては個人に奨励制度を敷き知的財産権を尊重する。  
2011 年度申請：41 期出願件数 4 件(光重合関連、紫外線吸収剤、特殊機能性付加物 他)

## VI. 消費者課題

### ・公正なマーケティング、情報及び契約慣行

ISO9001・14001 マネジメントシステムの維持管理することにより虚偽隠蔽の防止及び社会的影響・環境影響を提示している。

### ・消費者の安全衛生の保護

- a. 化学物質審査規正法及び労働安全衛生法の整備：遵守することにより消費者リスクの低減を図る。少量生産品については研究開発本部・生産本部にて管理。生産量制限超えに関しては化審法登録をしている。  
b. 平成 22 年度「保健衛生・薬事衛生・生活衛生功労者知事感謝状」受賞  
【功績内容】

安全衛生管理、毒劇物取扱管理、危険物管理に永年従事し  
管理向上に貢献するとともに、和歌山県毒物劇物取扱者協会理事  
として会の運営に尽力し、業界の発展に寄与した。



### ・持続可能な消費

#### a. 新製品(省エネ・エコ関連)

##### ・無溶剤関連(エコ関係) 水系関連

- i TSK シリーズの開発 塩ビゾル(アメリカンバー)の対抗を水性樹脂にて開発  
数年賭け東南アジア中心に拡販に勤める  
ii 易接着樹脂及び難燃コート 脱ハロゲン化(ケル・ブ・ム等)による機能性樹脂の開発

・省エネ関連

- i 光硬化型モノマー・ポリマーの合成・樹脂の重合

・その他

- i 保護コーティング材
- ii 紫外線吸収ポリマー

・消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決

営業員の1社1葉の商品と長期の担当によるユーザー管理・把握により、アフターフォローのシステムを形成し、サービス・支援に万全を尽くしております。

・消費者データ保護及びプライバシー

各ユーザーを長期担当・把握する事によりお客様情報の漏洩には十分配慮しておりますが、今の所システム的には確立できておらず今後規定等作成し、個人情報(メールアドレス等)を含め一層の配慮を尽くしていきます。

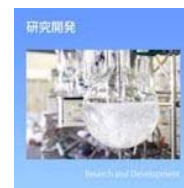
・必要不可欠なサービスへのアクセス

原料不足には十分配慮し、原料の製造中止・廃盤時にはお客様と御相談上げて本製品の在庫量及び代替品の紹介等ご協力させて頂いております。

・教育及び意識向上

立ち上げ時には営業及び開発にとりかかった研究開発員と共に顧客(工場)へ赴き、立会いテストを行い最終確認させて頂いております。

又、品質においては品証部より納入仕様書を交わし十分ご理解を頂いております。



## Ⅶ. コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

・コミュニティへの参画

- a. 隣接連合会への寄付(夏祭り協賛)(四ヶ郷、有本、中ノ島地区)
- b. 和歌山市主催の『港まつり』協賛
- c. 定期的な有本川周辺の清掃  
2011年、市より『平成23年度美しいまちづくり運動功労者』感謝状受賞
- d. 毎日の事務所前・公道の清掃、
- e. 隣接連合会との防災訓練・消防訓練
- f. 商工会議所主催の『商工まつり』に参加



- g. 志摩神社のまつり・夷神社等への寄付
- h. 52回福井市自衛消防隊消防操法競技大会参加
- i. (財)和歌山県国際交流会、創立20周年記念事業、国際交流まつり参加  
「(財)和歌山県国際交流会 創立20周年記念行事」  
『国際交流まつり』



日時：2010年11月20日(土)・21日(日)  
会場：和歌山ビッグ愛1F 大ホール  
主催：(財)和歌山県国際交流会・和歌山県国際交流センター

- j. 3回/年の献血協力



- k. X'mas チャリティコンサート協賛(民間ボランティア団体、和歌山市自衛隊協力会)  
「和歌山市立和歌山高等学校吹奏楽部」演奏会協賛



- l. 出初式への参加  
m. 東日本大震災 義捐金供出  
n. 台風 12 号による  
和歌山南紀水害ボランティア参加



・教育及び文化

- a. 和歌山市立和歌山高等学校吹奏楽部 演奏会の協賛 「平成 23 年度 入社者」

・雇用創出及び技能開発

- a. 毎年従業員の採用(高校大学新卒・中途を含む)  
2011 年度採用実績 大卒 4 人  
高卒 4 人  
中途採用 2 人



【新卒者】(平成 23 年 4 月 1 日入社 : 8 名)

1. S 氏 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科)
2. K 氏 (徳島大学大学院 環境創生工学 化学機能創生)
3. T 氏 (兵庫県立大学院 物質系工学専攻)
4. D 氏 (徳島大学大学院 環境創生工学 化学機能創生)
5. I 氏 (和歌山県立和歌山工業高校 化学技術科)
6. S 氏 (和歌山県立和歌山工業高校 化学技術科)
7. T 氏 (福井県立科学技術高校 化学システム科)
8. K 氏 (福井県立春江工業高校 自動車科)

【中途採用】(1 名)

1. S 氏 (39 歳) 岡山大学卒業 研究開発部配属
2. K 氏 (35 歳) 麗澤大学 海外関係会社出向

- b. 大学・高校からのインターンシップ受け入れ 2011 年度実数

「インターンシップ学生受入」

期間 : 2011 年 8 月 22 日(月)~9 月 2 日(金) (10 日間)

受入部署 : 研究開発部

- 学生名 : I 氏 (和歌山工業高等専門学校 エコシステム工学専攻)  
I 氏 (和歌山大学 システム工学部 精密物質学科)  
H 氏 (和歌山大学 システム工学部 精密物質学科)  
H 氏 (和歌山大学 システム工学部 精密物質学科)



(オリエンティング)



(研究開発部)



(生産部)

- c. 特許の出願 4 件数  
d. 和歌山テクノ・ビジネスフェア参加・出展

・技術の開発及び技術へのアクセス

- a. 産官学共同研究参加(工業技術センター)

・富及び所得の創出

- a. 企業として利益を出し、国又は地方自治体への納税(法人税・事業所税等)

以上を持って、弊社2011年度(2010年9月21日～2011年9月20日)のサステナビリティ報告書と致します。ご質問等御座いましたら弊社CSR推進室迄ご一報頂ければ誠心誠意を持ってスタッフがお答えさせていただきます。

【サステナビリティ レポート2011をご覧の皆様へ】

今回CSR推進室が4月に発足され、初めてのレポート作成になります。弊社41期(2010年9月21日～2011年9月20日)に行われたCSR活動について纏めてみました。これは今まで何気なく活動していた物を纏めただけで、サステナビリティ活動としてはまだまだ未熟な所は多々あります。今後、活動内容を詰めていき、一步一步前に進めて本来のCSR活動と言える様に推進し、サステナビリティの基礎を築いていきたいと考えております。皆様方には暖かい目を持って見守って頂く事をお願いすると共に、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願ひしたいと考えております。

編集：CSR推進室



和歌山県和歌山市

新中村化学工業株式会社

■本社・和歌山工場 〒640-8390 和歌山市有本 687  
TEL:073-423-3256/FAX:073-432-8571

■福井工場 〒910-3138 福井市白方町テクノポート 3-3-6  
TEL:0776-85-1110/FAX:0776-85-1119

■東京支店 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-4-7 アセンド神田鍛冶町ビル 4F  
TEL:03-3256-2671/FAX:03-3256-2673

■大阪支店 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-3-15 JEI 西本町ビル 9F  
TEL:06-6533-0395/FAX:06-6533-0575

■名古屋営業所  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-9-13 MKビル 6F  
TEL:052-586-6468/FAX:052-586-6456

■上海 新捺咖化学貿易(上海)有限公司  
〒200051 上海市長寧区仙霞路 317 号 1415 (遠東国際広場 B 棟 14 階 1415 室)  
TEL:+86-21-6235-1811/FAX:+86-21-6235-1812

